

研修名	専門課程 道路構造物(係長級)〔設計・施工コース〕〔集合〕 (平成 23 年度～) (昭和 36～平成 18 年度：「道路構造物設計」、平成 19～20 年度：「道路構造物」、平成 21～22 年度：「道路構造物設計施工技術」)					事務	技術
							○
目的・重点事項	係長級職員が修得しておくべき道路構造物に関する知見(設計・施工・保全)のうち、特に道路構造物の計画・設計・施工に関する専門知識及び技術の修得を図ることを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ○道路構造物の耐久性、耐震性、新技術導入に係る留意事項や技術基準への適合性を考慮し、計画・設計の履行状況の調査など、施工の監督などを行うために必要な専門知識の修得 係長級職員の道路構造物に関わる研修は〔設計・施工コース〕と〔保全コース〕に分離して実施している。 本研修受講者は、可能であれば(別年度になったとしても)〔保全コース〕も受講することが望ましい。						
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 地方整備局本局・事務所・出張所の係長又はこれと同等の職にあると認められる者 ② ①の者と同程度以上の能力を有すると認められる者						
定員(人) ※目安	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	20	1	25	4		50	
研修期間	69.0時間 12日間			令和6年 9月30日(月)～ 令和6年 10月11日(金)			
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(44.5) ① 道路構造物に関する行政上の最近の話題 等 ② 道路橋の技術基準体系、耐久性及び計画設計の留意事項、構造力学の基礎、鋼橋について、コンクリート橋について、下部構造及び道路橋の架橋条件(地盤)の調、道路橋の耐震性について 等 ③ 鋼橋の架設と品質、コンクリート橋の製作・架設と品質 等 ④ 道路土工、舗装、トンネルについて 等 2. 課題研究(15.5) ≪参考≫令和5年度のテーマ ・技術提案に対する技術的課題等の検討 ・与えられた設計条件及び架橋条件に対して橋梁の計画を行い、その設計概要書を作成 3. 現場実習(7.0) ≪参考≫令和5年度の実習 ・横浜環状南線(栄IC工事現場)、横浜湘南道路(横湘トンネル工事現場) 4. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス						
						計 69.0	
前年度からの 主な変更点	・研修期間変更(11月→9～10月)						
担当 国交大・本省	国交大：建設部 環境安全技術研修官 (TEL:042-321-0645) 本省：道路局 国道・技術課						
備考	テキスト代(予定)40,000円						